

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立比叡平小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

<教科の調査結果から>

本校は国語の正答率が高く、特に話す・聞く能力が優れていることがわかった。このことから、これまでの「確かな学力」の定着に向けた授業改善の成果が表れていると考えられる。算数は、「算数A」の問題の一部に正答率がやや低い傾向が見られ、課題が残ったが、それ以外の問題については相当数の児童ができています。

<質問紙調査から>

本校は読書好きで、国語の学習を大切だと感じている児童が多いことがわかった。一方、自尊感情や規範意識が低い傾向が見られる。特に自尊感情については昨年度も同様の傾向があることから、自信が持てない児童への支援が、本校の大きな課題の一つである。

《強み・弱み》

<強み>

これまで本校で取り組んできた、意見交流による学び合いの学習を中心とした授業改善によって、話す・聞く能力が高まっていることが、教科の調査結果からもわかった。質問紙調査においても、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」という質問に、「そう思う」などの肯定的な回答を選択した児童の割合が高い傾向にあり、このことから、意見交流（話し合い活動）による学び合いの学習に効果を感じている児童が多い。

また、国語の書くことや算数の記述式に関する問題は正答率が高いものが多い。このことから、意見交流による学び合いの学習とともに取り組んだ、自分の考えを表すノート指導の徹底が成果となって表れたと考えられる。質問紙調査の「自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか。」等の書くことに関する質問には肯定的な回答が多いことから、書く能力が高まってきていることが伺える。

<弱み>

児童質問紙では「自分にはよいところがあると思いますか。」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」に対して否定的な回答をした児童もおり、自尊感情・自己肯定感がやや低い傾向が見られる。また、十分に力を持っているにもかかわらず、自信が持てない児童が多いようである。

「国語A」の書くことや「算数A」の数と計算等の一部の問題について、習熟が必要であることがわかった。

【指導の充実に向けて】

- 校内研究で取り組んでいる、意見交流による学び合いの学習を中心とした授業改善をさらに進め、思考力や表現力を高めていく。
- めあてや課題、自分の考え、ふり返り等をノートに書く指導を徹底する。児童に自分の成長を実感させるために、特に学習の終わりにふり返りを書く活動に力を入れ、児童の学習理解を深め、自信を持たせていく。
- だらっこタイムなどの学習補充の時間の中で、授業の中でつまづいている児童への支援に力を入れ、個別の指導を強化していく。
- 児童が自分の考えに自信を持って意欲的に表現できるよう、互いに認め合い、支え合い、学び合う支持的な学級づくりに取り組む。